

研究用計算機システム共同研究制度 萌芽型研究課題 (JHPCN-Q) 公募のお知らせ

九州大学情報基盤研究開発センター（以下「センター」）では、学際大規模情報基盤共同研究・共同研究拠点（JHPCN）共同研究への足がかりとなることが期待される萌芽的な研究課題やセンターの研究用計算機システムを活用することで成果が見込まれる研究課題を募集します。採択された課題については利用負担金の全額を当センターが負担します。

- 募集対象

- 申請者（研究代表者）が文部科学省および日本学術振興会が公募する科学研究費助成事業（科研費）への応募資格を持つ者。
- 過去に本課題において採択されたことがない新規の研究テーマであること。

- 募集件数

10 件程

- 募集期間

2026 年 4 月 3 日（金）まで

- 提供資源

- 計算資源

スーパーコンピュータ玄界 共有タイプ 500,000 ポイント

※ポイントはノードグループ A/B/C において共通で利用可能です。

各ノードグループにおけるポイントの使用量は次のとおりです。

ノードグループ A 30pt / 1 ノード時間積

ノードグループ B 120pt / 1 ノード時間積

ノードグループ C 40pt / 1GPU 時間積

- 大容量ストレージ

100TB

※上記を超えるストレージ、または高速ストレージを希望される場合は本項末尾の問い合わせ先へご相談ください。

- ソフトウェア

次の URL ページに記載されているソフトウェアを使用可能です。

<https://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/software/>

なお、ライセンスの関係上、所属機関や身分により使用できない場合があります。

- 利用期間

2026年5月～11月

- 応募申込

以下 URL の Microsoft Forms から必要事項を記入しお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/ZHzkeG55NQ>

- 審査方法

計算機利用審査委員会（センター内）および JHPCN 審査委員会（JHPCN に設置）における審査後、結果を連絡いたします。応募課題に対する採択基準は次の通りとします。

- センターの研究用計算機システムを活用することで今後の発展が期待できる萌芽的テーマであるか。

※スーパーコンピュータの性能を活かせるかと判断できる根拠をご記載ください。

- 計算機利用計画に妥当性があるか。

- 費用負担

利用に係る費用は全て無料です。

- 利用終了後の流れ

- 得られた研究成果を査読付き学術雑誌・国際会議投稿などを通して公開する場合、謝辞などに本支援制度による成果である旨を明記してください。

【和文例】

本研究は九州大学情報基盤研究開発センター研究用計算機システムの萌芽型研究課題を利用した。

【英文例】

The computation was carried out using the computer resource offered under the JHPCN-Q by Research Institute for Information Technology, Kyushu University.

- 当センターが主催するフォーラムにて成果発表(現地参加)をお願いします。旅費はセンターより支給します。

- 採択年度に開催される JHPCN シンポジウムにおいて研究内容紹介(ポスター発表)をお願いする場合があります。発表者の旅費は JHPCN 事務局より支給されます。

- 本制度に採択された研究テーマを将来的に JHPCN 共同研究へ応募することを奨励します。

- 遵守事項

研究用計算機システムの利用に関しては、センターの研究用計算機システム利用規程

を遵守していただきます。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/407/1/2004kitei127.pdf>

- 問い合わせ先

基本的な利用法を含め、利用に関する相談は随時受け付けます。

request[at]iii.kyushu-u.ac.jp